

第91期 中間報告書

2015年4月1日－2015年9月30日

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、
平素より格別のご支援を賜り、
厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第91期 上半期
(2015年4月1日から2015年9月30日まで)
のご報告を申し上げます。



代表取締役社長

中里 佳明

目次

TOP MESSAGE	1
業績ハイライト	3
SMMとメタルのちから	
特集 自然へ還るテーリングダム CBNCの植栽再生	5
トピックス	9
連結財務諸表(要約)	11
会社情報	13
株式状況	13
株式メモ	14

2015年度上半期(第1・第2四半期合計) の業績について

金属価格の下落により、 前年度同期間と比べ減益となりました。

当上半期の世界経済は、米国では個人消費や住宅投資が拡大したものの、中国では成長のペースが減速し、欧州経済も低迷した状況が継続しました。

非鉄金属価格については、ニッケル価格が昨年夏以降下落を続けており、前年同期間と当上半期の比較では約36%の下落となりました。銅価格も同じく約18%の下落となっています。また金価格も下落傾向で推移しました。

このようななか、当上半期(2015年4月～2015年9月)の売上高は、前年同期間(2014年4月～2014年9月)と比べ3%増加し、4,592億円となりました。営業利益では7%減少し、515億円となりました。経常利益では、昨年円安の進行に伴い発生した為替差益が、今回は発生しなかったことなどから、19%減少し646億円となりました。親会社株主に帰属する純利益では3%減少の538億円となっています。

戦略の進捗状況と今後の見通し

各プロジェクトは進捗していますが、 外部環境は大きく悪化しています。

ニッケルでは、フィリピンで2013年に生産を開始したタガニートHPALニッケル社、また2005年生産開始のコーラルベイニッケル社はともにフル稼働を続けています。銅では当社が権益を持つモレンシー銅鉱山(米国)で進めてきた生産量を大幅に増強させる拡張工事が完成し

ました。一方でシエラゴルダ銅鉱山(チリ)については、当初スケジュールからやや遅れた状況となっています。

金属価格については、ニッケル価格は中国の景気減速懸念などを受け、今年9月には2008～2009年のリーマン・ショック以来の低い水準まで落ち込みました。また銅価格、金価格も昨年までと比べ非常に低い水準が続いています。当社では各部門にてコストの削減を行うとともに、プロジェクトを着実に進捗させ、利益を確保していきます。

配当方針について

年間配当性向は25%以上とします。

12中計期間の配当性向は25%以上とし、業績に連動した配当を実施する方針としています。当中間期の配当は21円/株とさせていただきます。

株主のみなさまへのメッセージ

今後も成長戦略を着実に推進し、企業価値の更なる向上をめざしていきます。

現在の非鉄金属価格の低迷は当社にとって極めて強い逆風であり、当面は厳しい状況が続くことが想定されます。このようななか、当社は長期ビジョンの達成に向けて各戦略を着実に推進し企業価値の向上をめざしていきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

業績ハイライト

売上高

4,592億円

経常利益

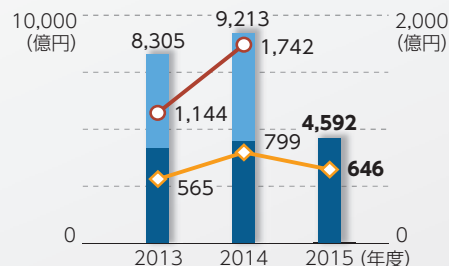
646億円

売上高(左軸)

■ 通期 ■ 第2四半期累計

経常利益(右軸)

○ 通期 ◇ 第2四半期累計



親会社株主に帰属する
純利益

538億円

1株当たり配当金

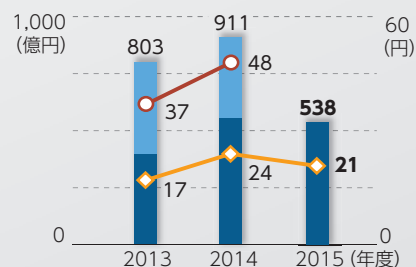
21.0円

純利益(左軸)

■ 通期 ■ 第2四半期累計

1株当たり配当金(右軸)

○ 年間 ◇ 第2四半期末



業績ハイライト

資源セグメント

当期業績概要について

- ▶ 菱刈鉱山の操業は順調に推移しました。
- ▶ ポゴ金鉱山は鉱石中の金品位が低下したことにより、生産量は減少傾向となりました。
- ▶ 海外銅鉱山では、モレンシー銅鉱山の増強工事が完了し、順調に立ち上がっています。

今後の展望

- ▶ 銅では、シエラゴルダ銅鉱山のフル操業に向け引き続き注力していくとともに、既に権益を保有しているセロベルデ銅鉱山の拡張プロジェクト完工に向けて進めていきます。
- ▶ 金では、菱刈鉱山の安定した操業に努めていきます。
- ▶ 引き続き、操業中の鉱山の周辺探鉱を推進するとともに、有望な開発案件への参入を検討していきます。

第2四半期累計

セグメント利益 構成比

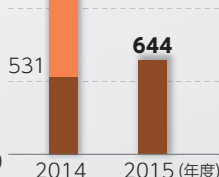
43.3%

セグメント利益

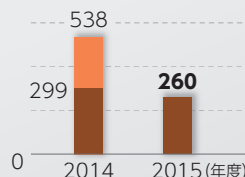
260億22百万円

■ 通期 ■ 第2四半期累計

売上高
1,500
(億円)



セグメント利益
1,000
(億円)



製錬セグメント

当期業績概要について

- ▶ 銅製錬では、東予工場の生産は安定的に推移しました。
- ▶ ニッケルでは、タガニート、コーラルベイのHPALプラントはフル操業での生産を継続しています。またHPALプラントからの中間製品を処理しているニッケル工場の生産も昨年と比べ増加しています。

今後の展望

- ▶ 銅製錬では、製錬マージンの好転を受け、円安メリットをいかしコスト競争力の強化により安定的な収益確保をはかっていきます。
- ▶ ニッケルでは、引き続きタガニート、コーラルベイのHPALプラントの順調な操業を行っていきます。また播磨事業所では、硫酸ニッケルの増産を進めており、2017年度の稼働をめざしています。

第2四半期累計

セグメント利益 構成比

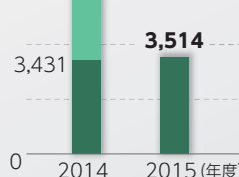
51.2%

セグメント利益

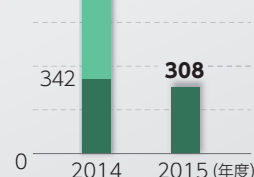
307億83百万円

■ 通期 ■ 第2四半期累計

売上高
8,000
(億円)



セグメント利益
1,000
(億円)



注) セグメント間の取引が発生しており、当社の売上高として公表している数値はこれを消去した外部売上高の合計です。各事業の売上高、セグメント利益はセグメント間取引を消去する前

材料セグメント

当期業績概要について

- ▶ 電池材料は、車載用電池向け需要が好調だったことから、販売量が増加しました。
- ▶ 結晶材料は、スマートフォン向け部材の需要が好調でした。
- ▶ 中国経済の減速による一部製品の減販および増産体制を構築するために費用が増加したことなどから、セグメント利益は減少しました。

今後の展望

- ▶ 電池材料は、今年度末の完成をめざし、電気自動車向けニッケル酸リチウムの増産起業を進めていきます。
- ▶ スマートフォン向けとして使われる結晶材料(タンタル酸リチウム、ニオブ酸リチウム)の増産起業を進めていきます。

第2四半期累計

セグメント利益 構成比

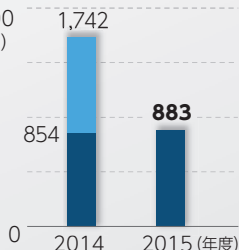
5.5%

セグメント利益

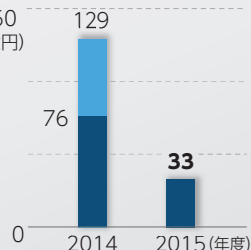
33億20百万円

■ 通期 ■ 第2四半期累計

売上高
2,000
(億円)



セグメント利益
150
(億円)



菱刈鉱山 (鹿児島県)

の金額を表記しております。セグメント利益構成比は、3セグメント合計に対する比率を表記しております。

特集

自然へ還るテーリングダム CBNCの植栽再生

地球および社会との共存。

別子銅山の植林は、SMMのCSR活動のルーツでもあります。

その精神を引き継ぐ、テーリングダムへの植栽がフィリピンの
コーラルベイニッケルコーポレーション(以下、CBNC)で行われています。



CBNCプラントの外観

CBNCの概要

会社名	コーラルベイニッケルコーポレーション Coral Bay Nickel Corporation (CBNC)
所在地	フィリピン共和国 パラワン島 操業開始 2005年
特徴	HPAL (High Pressure Acid Leach、高圧硫酸浸出) 法による商業ベースでの生産を世界に先がけて成功。これまでは活用できずにいた低品位のニッケル鉱石を資源化できるようになった。生産されるニッケル・コバルト混合硫化物 (Mixed Sulfide, MS) は当社のニッケル工場および播磨事業所でニッケル製品・コバルト製品の原料となる。



現在の第1テーリングダム

役目を終えたテーリングダムを 自然へ返す

鉱山では、必要な金属成分を含んでいない、単なる石まで一緒に採掘してしまいます。この金属製品とならない部分は、鉱石の選別工程、製錬過程で取り除かれて、無害化処理を行いテーリングダムと呼ばれる堆積施設に送られます。「ダム」という名称のとおり、私たちがイメージする水を貯めるダムと同じような形態です。この中で固体（泥のような形状）と水を分離して、固体はダムの中に貯められ、水は海に放流されます。現在、CBNCでは一つ目のテーリングダムが満杯となり、二つ目のテーリングダムが使用されています。当社ではこの役目を終えたテーリングダムに植物を植え、緑へと戻す活動をしています。



植栽に使用する植物を育てている様子



苗を植える土をひとつひとつ袋につめる作業

テーリングダムが緑で覆われるまで

① テーリングダムが満杯になる

テーリングダムで、HPAL工程から排出された残渣(泥水の状態)を保管し、水分を分離します。

② 土壌の改良

テーリングダム内の土が乾燥し、植物が植えられる固さになったら、植物が育つ土壌へと改良していきます。

①もみ殻肥料をつくります

CBNC付近の精米所から買い取った、お米のもみ殻を炭化処理します。

②ミミズ堆肥をつくります

稲わら、牛糞肥料、ミミズを入れて、ミミズ堆肥をつくります。



ミミズ堆肥による土壌改良

③混ぜ合わせます

付近の農家から購入した土、もみ殻肥料、ミミズ堆肥を混合し、この土壌媒体をテーリングダムに植える苗と一緒に敷くことで、植物の育つ土壌をつくります。

③ 植物を植える

植物が確実に根付くよう、苗を育ててから植栽します。

①苗をつくります

苗床にて、発芽させた植物を小分け袋に入れて育てます。

②耐性強化をします

ある程度育った苗を直射日光、雨風に直接当たる場所に移して育て、植物の耐性を高めます。



苗をテーリングダムへ植える作業



植栽につかう植物の苗床

③テーリングダムに植栽します

半年～1年の間苗床で育てた後、テーリングダムに植栽します。



これらの方法は、外部のアドバイザーから得た知識ではなく、CBNCの担当者を中心に考えられた技術です。

「もちろん多くの文献研究をしましたが、私は農家の息子ですので、この土地でどのように植物を育てるべきか知っていたのです。」
(CBNC 環境管理担当者談)

最優秀鉱業緑化賞と 大統領賞を受賞

CBNCの植栽再生活動は、フィリピン環境天然資源省から、2014年に最優秀鉱業緑化賞(金属製錬部門)と同時に、大統領賞も受賞しています。これは、プラントにおける環境管理、安全管理および地域貢献等を総合的に評価された上で決定される最も名誉ある賞です。



受賞式の様子

2015年 4月

5月

6月

7月

8月

ポゴ金鉱山、 金生産累計300万オンス達成

9月30日、ポゴ金鉱山は累計金生産量300万オンス(約85トン)を達成しました。

記念すべき300万オンス目のドーレは、25名の従業員の立会いのもと鑄込まれました。クリス・ケネディ鉱山長は、「累計生産量300万オンスを達成するまでに、計画や許認可申請に10年、そして操業開始以来9年がかかっています。300万オンスというのはとても偉大な功績で、これを成し遂げた我々のチームを誇りに思っています」と語っています。



300万オンス記念ドーレ

材料研究所が発足

当社は材料事業の研究開発機能強化を目的とし、10月1日付で青梅事業所(東京都青梅市)の敷地内に材料研究所を発足させました。これは従来、同所にあった「材料開発センター」を引き継ぎ、研究開発体制を一層強化することを目的としています。

12中計では、研究開発と材料事業の一層の連携による製品開発を目標としています。このため、市川研究所(千葉県市川市)で行っていた材料事業関連のテーマを材料研究所に移管し、より生産部門との連携をとりやすい体制としています。なお市川研究所は「市川研究センター」へ名称を変更し、基礎研究と評価技術に特化していきます。



人材開発部を新設

当社は人材開発力の強化をめざし、10月1日付で「人材開発部」を新設しました。これは、人事部が所管していた人材育成プログラムをさらに充実させ、各部門独自の研修とも連携させることで、より効果的な人材の育成を図っていくものです。また人材開発部にはダイバーシティ推進室を設置しており、女性や障がい者などさまざまな人材が能力を発揮できる環境づくりや、人権尊重の推進を進めていきます。

当社にとって人材は非常に大きな強みであると考えており、企業価値向上のためには次世代への技能・知識の伝承とその高度化は極めて重大なテーマです。これからも当社は人材育成を推進し、成長戦略の実行をめざしていきます。



9月 10月 11月 12月

「証券アナリストによる ディスクロージャー優良企業選定 (鉄鋼・非鉄金属部門)」で第1位を獲得

当社は、平成27年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、鉄鋼・非鉄金属部門で第1位の優良企業に選ばれました。これは5年連続の受賞となります。本選定は、公益社団法人日本証券アナリスト協会が企業情報開示の促進・向上を目的として平成7年度から開始し、今回で21回目です。選定にあたっては、各業種の証券アナリストが情報開示等に関する5項目について評価し、優良企業を選定します。当社は、鉄鋼・非鉄金属部門の対象14社の中で、5項目中全ての項目において第1位という高い評価を獲得しました。



「黄金伝説展」に特別協賛

当社は、国立西洋美術館(東京・上野)など3ヶ所で開催される「黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝」に特別協賛しています。本展は、古代地中海文明のさまざまな金製品(装飾品など)と金を題材にした絵画を展示しています。当社は国内外で金鉱山の採掘や金製錬を行っており、金に関わる展示会を支援することは意義深いものと考えています。なお現在開催中の東京展では、当社菱刈鉱山の金鉱石も展示しています。

▶開催期間(いずれも予定)

- 東京 国立西洋美術館
開催中～2016年1月11日
- 宮城 宮城県美術館
2016年1月22日～3月6日
- 愛知 愛知県美術館
2016年4月1日～5月29日

※株主さまへの招待券等の贈呈はいたしておりません。ご了承ください。



東京展に展示されている当社の菱刈鉱石

CSR報告書2015が 発行されました

当社グループの具体的なCSR活動の内容を発信する、CSR報告書の2015年度版が発行されました。当社は「地球および社会との共存」を目標として、様々なCSR活動に取り組んでいます。

2015年度のCSR報告書は、昨今の国際的な流れである統合報告書への移行を見据え、業績とともに当社の事業活動の強みや、事業の社会的な意義について説明する内容となっています。

CSR報告書は当社ホームページからご覧ください。

当社ホームページアドレス
<http://www.smm.co.jp/>



連結財務諸表(要約)

当上半期(2015年4月～9月)の売上高は、金属価格は下落したものの円安の影響および販売量の増加により、前年同期間(2014年4月～9月)に比べ137億円増加し、4,592億円となりました。

営業利益については円安による好転はあったものの、金属価格下落の影響が大きく、前年同期間と比べ38億円減少し、515億円となりました。

経常利益では、営業利益の減少に加え、前年発生した円安による一時的な為替差益が無くなったことなどにより、前年同期間に比べ153億円減少し、646億円となりました。

親会社株主に帰属する純利益は前年同期間と比べ17億円減少し、538億円となりました。

売上高
前年同期間比
3.1%増

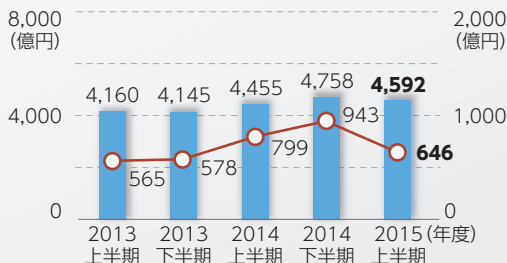
4,592億円

経常利益
前年同期間比
19.1%減

646億円

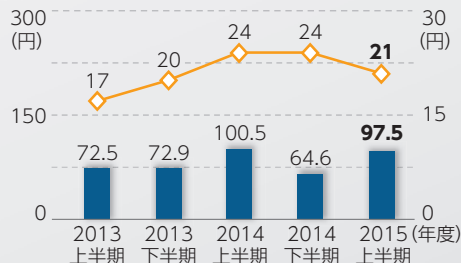
売上高／経常利益

■ 売上高(左軸) ○ 経常利益(右軸)



1株当たり純利益※／1株当たり配当金

■ 1株当たり純利益(左軸) ◇ 1株当たり配当金(右軸)



※1株当たり親会社株主に帰属する純利益

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)	当第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日
売上高	459,215	445,470
売上原価	382,618	367,088
売上総利益	76,597	78,382
販売費及び一般管理費	25,128	23,095
営業利益	51,469	55,287
営業外収益	16,330	27,660
営業外費用	3,213	3,090
経常利益	64,586	79,857
特別利益	16,400	54
特別損失	844	239
税金等調整前四半期純利益	80,142	79,672
法人税等合計	15,118	19,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,266	4,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,758	55,452

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	当第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,529	43,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,204	△ 50,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,579	△ 14,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	404	△ 1,337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150	△ 23,657
現金及び現金同等物の期首残高	177,720	202,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	177,870	178,926

当上半期末の資産は、前期末(2015年3月末)と比べ48億円増加し、1兆7,450億円となりました。

負債は、前期末に比べ399億円減少し、5,414億円となりました。

純資産については、純利益の計上により株主資本が増加しました。自己資本比率は61.9%と引き続き健全な財務体質を維持しています。

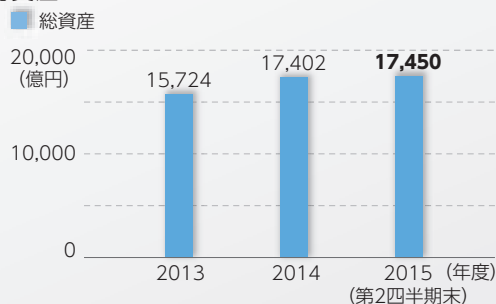
総資産
前期末(2015年3月末)比
0.3%増

17,450億円

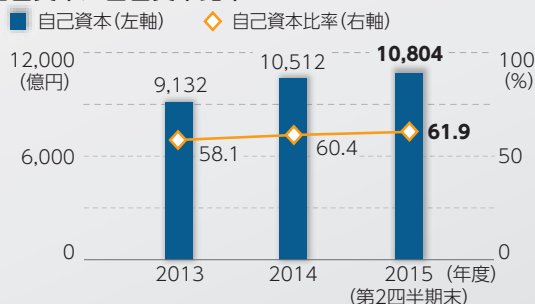
自己資本
前期末(2015年3月末)比
2.8%増

10,804億円

総資産



自己資本／自己資本比率



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	当第2四半期末 2015年9月30日	前期末 2015年3月31日
資産の部		
流動資産	529,056	545,861
固定資産	1,215,986	1,194,385
有形固定資産	473,272	469,373
無形固定資産	10,210	10,765
投資その他の資産	732,504	714,247
資産合計	1,745,042	1,740,246
負債の部		
流動負債	215,882	238,425
固定負債	325,473	342,876
負債合計	541,355	581,301
純資産の部		
株主資本	957,050	916,575
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	86,067	86,066
利益剰余金	810,538	770,020
自己株式	△ 32,797	△ 32,753
その他の包括利益累計額	123,386	134,649
非支配株主持分	123,251	107,721
純資産合計	1,203,687	1,158,945
負債純資産合計	1,745,042	1,740,246

会社情報

会社概要 (2015年9月30日現在)

商号	住友金属鉱山株式会社 Sumitomo Metal Mining Co., Ltd.
本社所在地	東京都港区新橋五丁目11番3号
創業	天正18年(1590年)
設立	昭和25年(1950年)
資本金	932億円
従業員数	連結：8,725名 単独：2,219名

取締役および監査役

(2015年9月30日現在)

取締役会長	家守 伸正*
取締役社長	中里 佳明*
取締役	土田 直行 緒方 幹信 野崎 明 森本 雅裕
社外取締役	牛嶋 勉 泰松 齊
常任監査役 (常勤)	中重 一雄
監査役 (常勤)	佐藤 元
社外監査役	三和 彦幸 野崎 茂

執行役員

(2015年9月30日現在)

社長	中里 佳明
専務執行役員	土田 直行 緒方 幹信
常務執行役員	橋本 安司 飯島 亨 後根 則文 黒川 晴正 杉浦 卓
執行役員	岡田 功 小田 浩久 角谷 博樹 浅井 宏行 山際 雅幸 森本 雅裕 野崎 明 今村 正樹 朝日 弘 井手上 敦 猪野 和志 安川 修一

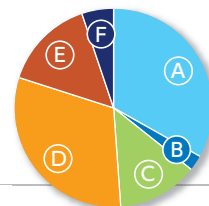
注 *印は、代表取締役です。

株式状況

株式の状況 (2015年9月30日現在)

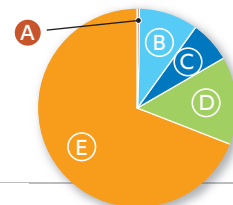
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	581,628,031株
株主数	41,749名

株式分布状況 (2015年9月30日現在)



所有者別の状況

区分	所有株数(株)	(%)
A 金融機関	192,917,001	33.17
B 証券会社	14,739,219	2.53
C その他の国内法人	76,510,522	13.15
D 外国法人等	180,857,696	31.10
E 個人その他	86,630,583	14.90
F 自己名義株式	29,973,010	5.15



所有株式数別の状況

区分	所有株数(株)	(%)
A 1 ~ 999	1,760,486	0.30
B 1,000 ~ 9,999	56,306,320	9.68
C 10,000 ~ 99,999	39,059,711	6.72
D 100,000 ~ 999,999	83,001,671	14.27
E 1,000,000 ~	401,499,843	69.03

株式メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

株主総会

定時株主総会 毎年6月
臨時株主総会 必要の都度

基準日

定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人および特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)
0120-782-031

公告掲載方法

電子公告とする。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載する。



株主のみなさまのご意見をお聞かせください

株主のみなさまからご意見をお聞かせいただき、よりよいIR活動を行っていくためアンケートを実施いたします。

今回、9月末時点で

**1,000株以上の株式をお持ちの方に
アンケートはがきを同封**しておりますので、
ご協力いただきますようお願いいたします。

**ご回答いただいた方の中から100名の方に、
オリジナル図書カード(1,000円分)を贈呈**いたします。

なお当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

株式に関するお届けおよびご照会先

証券会社に口座を開設されている株主様は口座のある証券会社宛に、特別口座に口座がある株主様は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社証券代行部までお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

単元未満株式買取および買増のご請求について

株主様がご所有の単元未満株式(1~999株)を当社が買取らせていただく制度がございます。また、株主様がご所有の単元未満株式を単元株式とするため、必要な数の株式を買増する制度がございます。単元未満株式の買取および買増請求につきましては、上記「株式に関するお届けおよびご照会先」にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

配当金のお受け取り方法について

配当金のお受け取りにつきましては、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口において配当金領収証と引換えにお受け取りいただく方法のほかに、より安全で確実な方法として、ご指定の銀行口座またはゆうちょ銀行の貯金口座へ継続的にお振り込みする方法がございます。また、証券会社に口座を開設されている場合は、証券総合口座等へのお振り込みも可能です。お振り込みをご希望される場合は、上記「株式に関するお届けおよびご照会先」にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

ディスクロージャー
2015年度 優良企業



当冊子についてのお問合せ先

 **住友金属鉱山株式会社** 広報IR部
〒105-8716 東京都港区新橋5丁目11番3号
TEL.03-3436-7705 FAX.03-3434-2215

当社ホームページのご案内

ホームページでも、投資家情報をご
紹介していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.smm.co.jp/>

